

建設防災 ボランティアニュース 第 37 号

平成22年度東京都・文京区 合同総合防災訓練に参加

当協会の重要な活動の1つである総合防災訓練に参加しました。

8月29日(日)午前9時から午後2時まで東京都・文京区合同総合防災訓練が行われ、当協会から六建班、東部公園班、理事等合わせて12人が参加しました。

34度を超える猛暑の中での訓練でした。今回の訓練は文京区内の白山通り会場をはじめとした5会場で、訓練目的は「震災時における都、区、各防災機関の連携の強化及び地

域住民の自助・共助に基づく地域防災力の向上を図ること」でした。

建設局の訓練内容は、白山通り会場で行なわれた道路啓開訓練、東洋大学・京北学園会場で行なわれた土嚢・水嚢作り体験等水防訓練及び防災公園関係ではパネル展示等による防災意識啓発でした。私たちボランティアはこの訓練の一端を担いました。

講評の中で知事は、この猛暑の中での訓練は大変だったと思うと都民を代表して訓練参加者の労をねぎらうと共に、このような訓練は「習うより慣れろ」だと、ことわざを引き、実際に経験することの大切さを述べていました。

参加された9人の方々、暑い中での活動お疲れさまでした。道路啓開訓練に参加された方は、説明会、リハーサルを含め3日間の参加でした。有り難うございました。

担当理事 中田 勝司

訓練参加協会員(敬称略)

○道路啓開 荒川 晃、阿久津 勉、田戸 哲夫

○土嚢作成等 小林 健三郎、増沢 一郎

高橋 好弘

○ 東部公園班 小林 和夫、角田 勲、後藤旭

○ 協会 中田 勝司、本間 弘、興水 昭秀

六建班の報告(道路関係訓練)

今回の訓練は、白山通りの東洋大学6号館前付近で、上り車線を半日以上、通行止めして行われた。当日も有り難いことに、関東大震災を彷彿させる猛暑であった。

現場の白山通りは、昭和40年代に閑静な住宅地に新設された道路で、環境問題で、先輩諸氏の大変なご苦勞の末、整備されたものであった。

その影響で、地下鉄三田線が、旧中仙道下に迂回したという。それが現在は、沿道に中高層ビルが建ち並び、後背地の環境保全の緩衝建築物、延焼遮断帯、避難路等の機能を有し、歩道や分離帯の豊かな緑とともに、都市の骨格としての都市計画道路が、まさに具現された箇所と言えよう。

なお、白山の名は、霊峰白山をご神体とする、現場近くの、白山神社から由来する。

訓練参加者は、六建から、渡邊所長、尾上補修課長以下28名。防災ボランティアから、荒川、阿久津の六建OBと田戸の3名。協力業者の日本道路(株)から18名の、合わせて49人であった。



道路班の協会員と六建職員

訓練内容は、東京消防庁との連携による、

①倒壊街路灯、コンクリート壁等の除去訓練

②中央分離帯啓開作業

③ICタグ、レスキューナビゲーション活用の道路点検等

平成 22 年 9 月 30 日

当日は、朝8時に六建に集合、バスにて9時現場到着、各分担内容確認等の準備の後、10時30分に、山口道路監、渡邊所長の訓示を経て、同43分に六建災害対策本部立ち上げ、訓練が開始された。沿道には、老若男女多数が集まり、真剣に訓練を見入っていて、関心の強さ高さが感じられた。

訓練は、ほぼ予定どおり進み、11時40分に石原知事講評、その後、所本部で道路監の講評、村尾局長のねぎらいの言葉を頂き、滞りなく終了した。



白山通りの道路啓開訓練



六建本部へ報告する協会員

六建帰還後、補修課有志との懇親会に阿久津とともに参加し、楽しい宴を過ごすことができ、老人性疲労が癒されました。

最後に、六建の皆様、特に、六建事務局の鶴田、坊屋舗、加藤望の3氏のご苦労、ご配慮に深く感謝致します。また、防災ボランティア本部から参加した、中田、本間、興水の3氏と、個人的にお世話頂いた、新井敏男さん、道路整備保全公社野村美子さん、有難うございました。

No.37(22—3)

なお、台北県特別救助隊が参加し、国際協力的な取組みがなされたことを、付記します。

六建班 田戸 哲夫

六建班の報告(河川関係訓練)

今年の防災訓練は例年の河川敷や大規模公園と違い、都心部に位置する文京区内で行われたが、区内ではまとまった大きな敷地が確保できず、白山通り会場、東京大学会場、向丘2丁目会場、東洋大学・京北学園会場など複数の会場に分散して行われた。

六建の河川関係訓練(都市型水防工法体験訓練)は、展示・体験訓練を中心に行う東洋大学・京北学園会場となった。協会からの参加者は、小林(健)、増澤、高橋(好)の3名でした。

当日は、朝から8月の終わりとは思えない夏の陽が照りつけ、三方が校舎で囲まれ舗装されたグラウンドとなっていることから、例えるなら四方を山で囲まれたミニ盆地での「水害時に役立つ水防工法等の体験訓練」場であった。

訓練は、午前8時半山口道路監から「暑さ対策に備えた上で実のある訓練を行って欲しい。」旨の挨拶で始まった。

続いて六建副所長から激励の言葉があり、各自持ち場に着き班長の本番に備えた模範演技に見入って予備知識を習得した。

午前9時過ぎになると、街中だけに近所の老いも若きも続々と会場に集まり、六建コーナーの「浸水時の扉にかかる水圧体験」が早くも賑わい出した。



水圧体験訓練会場の様子

水深50cmのドアを開くのに壮年男子が四苦八苦する姿を連れの女性が水圧の大きさに吃驚し、やっと開けられた瞬間二人で大喜びする姿が印

平成 22 年 9 月 30 日

象的だった。

同じ六建の土のう・水のう積み体験コーナーは、職員のハンドマイク等による呼び込みや誘いが功を奏し、多くの家族連れが土のうを積みたいと集まり始めた。



土のう造りの子供達を指導する協会員と職員

班長さんと若手職員の適切なアドバイスで、スコップを突き刺すと土の小山が崩れ、その土をビニール製麻袋に入れ、口を紐で縛ると立派な土のうが出来上がった。

出来立ての土のうを一輪車に親子で載せ、就学前の童子が一輪車を操作して土のう積み場に運び、丁寧に積み上げた。

続いて水のう造りコーナーへ移り、一見南京袋に見える麻袋を金魚すくいのような水槽に 3 分間程度漬けるだけで、重さが 30kg 程の水のうとなり、家族総出で水のう積み場まで運び入れ、一連の体験を汗びっしょりになって終えた。

土のう造りから水のう造りを体験した親が子に「良い夏休みの感想文が書けるね。」と言いながら会場を去って行った。

今回、我々と同じボランティアに大学生が次々と加わり、職員の 1 回だけの指導で、早速要領良く参加者に対応しており、彼らを取り囲んだ人達も生き生きする姿を見るにつけ、さすがの防災ボランティアも若さには勝てないと脱帽した次第である。

体験希望者は切れ目なく続き、あっという間に時間が過ぎ交代を繰返し、気が付くと陽は中天にあって日陰も無くなり会場全体が炎天下となった。嬉しい悲鳴と一緒に滝の汗が滴り落ち、午後 1 時半頃には用意した水のう 190 袋が底を尽き、土のう積みだけの体験訓練となりやがて終了時刻を迎えた。

No.37(22—3)

午後 2 時過ぎ、京北学園キッズコーナー付近に全員が集合、副知事、文京区長出席のもと講評が行われ、続いて訓練会場で村尾建設局長から「家に着くまでが訓練です。」の言葉と、最後に六建渡邊所長からのねぎらいの挨拶を頂き解散、長い 1 日を終え家路へと向かった。



河川班の協会員と六建職員

今回は今までの観衆に見て貰う実戦的訓練と違い、地域の老若男女が自ら体験する訓練とあって、文字通り水害時に役立つ非常に有意義な防災訓練だった。

それは最初、親が子供に言い聞かせて土のう造りに挑戦し、完成した途端「もう一度やりたい。」と子供の方から言い出し、スコップを握り締め親が引き込まれていた姿が訓練の成功を全て物語っていた。

六建班 増澤 一朗

東部公園班の訓練報告

建設防災ボランティア東部公園班では、8月29日の東京都・文京区総合防災訓練に、後藤旭・角田勲・小林和雄の3名が参加した。

8時30分に、「東洋大学・京北学園会場」である京北学園校庭の東京都東部公園事務所展示ブース前に集合した。

公園緑地部、東部公園、(公財)東京都公園協会等総勢27名が参加。8時50分に上杉公園緑地部長、大内所長の訓示を受け、9時より訓練が開始された。

今回、建設防災ボランティアの訓練内容は、会場が狭く校庭であることから、毎回実施している防災トイレの組み立て訓練は行わず展示の紹介・説明等を行なった。

内容は、「震災時における公園緑地の役割」を

平成 22 年 9 月 30 日

テーマに、都立公園の防災の取り組みの紹介、関東大震災の被害状況の貴重な写真展示、防災トイレの展示、かまどベンチの展示、映像での阪神・淡路大震災の復興の歩み、延焼防止に役立つ植物などの展示を中心に行なわれた。



公園班の協会員と東部公園職員

これら展示パネル、防災トイレについて、見学者に展示内容や防災トイレの仕組み・使用方法、公園の設置場所の構造説明、パンフレットの配布などを行なった。

見学者の中には、防災トイレが大規模公園に設置できるような施設があることを存じている方もいて、アピールが進んでいるかなと感じた。

また、関東大震災の写真展示では、上野松坂屋デパートが崩れ上野地区が一面焼け野原になった写真を熱心に見学していた。多くの見学者が震災時の都立公園の役割を理解して頂いたのではないかと思います。

14:00から、東洋大学会場の KIDS コーナで、文京区長、佐藤副知事の訓練の講評があり、展示ブースに戻り14時15分より上杉公園緑地部長、大内所長の講評を受けて解散した。

東部公園班 小林 和雄

平成22年度前期道路施設点検

本年度の道路施設点検は、6月15日の六建を皮切りに7月20日の二建までに10事務所で41名の協会員が参加しました。

事務所	実施日	参加協会員
一建	7/6	2名
二建	7/20	4名
三建	6/29～7/15、延 6 日	12 名
四建	7/13,7/15	3 名

No.37(22—3)

六建	6/15	3 名
西建	7/4～延 4 日	4名
南東建	7/16	5 名
南西建	6/24	4名
北南建	7/2,7/5	4 名
北北建	7/16	6 名
計		41 名

※五建は前期実施していません。



三建班バリアフリー点検の協会員と職員

協会からのお知らせ

1. 施設見学会のお知らせ

本年度は、「11月12日(金曜日)15:00」から今話題となっている「東京スカイツリーと周辺の街づくり」の見学と終了後の懇親会を予定しています。

詳細は決まり次第会員の皆様へお知らせします。

担当理事 堀中 逸、藤田 進

2. 救急救命講習会のお知らせ

本年度は、「11月19日(金曜日)13:00」から新宿消防署講堂で開催します。多くの会員の参加を期待してます。

詳細は決まり次第会員の皆様へお知らせします。なお、受講費は協会で負担いたします。

担当理事 二宮 克弘

発行人：沼尻 敦

発行：東京都建設防災ボランティア協会

所在地：東京都新宿区西新宿 2-3-1

財団法人 東京都道路整備保全公社内

編集：加藤 基雄、中田 勝司、丸岡 敏夫